



出張報告会を上松川コミュニティーで行いました。左上はテラソでの報告会。

平成25年度
予算可決。

主な内容

- 平成25年度予算・付帯決議 P 2.3
- 委員会報告・賛成反対討論 P 4.5
- 議会報告会・要望書の成果 P 6.7
- 議会議員研修報告・目次 P 8
- 13人が一般質問 P 9~21
- 小学6年生傍聴記 P 22~24



名菊（巴錦）



議会を見学して

神田 優太

ぼくは、この町議会を見学してとても良かったと思います。

この議会は、入ったらとても緊迫した感じでした。さすが町の方針を決める大事な会であつて議員さん、町長さんなどとてもしっかりとやつていました。おどろいた事は、議員が質問する時に制限時間があつたことです。ぼくが考えたのは、議会が長くなりすぎないようにするためなんじゃないかと考えました。とても工夫がされていくことがよく分かりました。

ぼくが、議会が出された議題について考えたことがあります。関谷議員さんが出された「交通安全の確保調査と対策」について考えました。ぼくたちがよく歩くこの町の安全も自分たちで考えてい

かないといけないんじゃないかなあと思います。よく歩いてみると危ないなあと思つたことがあります。栗が丘のデイリーヤマザキから桜井かんせい堂のカーブの道は、栗が丘に住んでいて危ないと思います。横断歩道がカーブにあつて見えづらいので、一応ちがう所を通るようになつていますが、通っている人が何人かいるのでちがう所につくつてほしいと考えました。

とてもいい経験になりました。本当にありがとうございました。

議会見学について

三原 早智

議会は、とてもきちょうしたふんいきでした。議員のみなさんは、自分の意見をしっかりと持つていてすごいと思いました。そして、「はい。」という返事が大きい声ですごいと思

いました。

私が気になつた議題は「通学路の交通安全」のことです。議員さんは大人ですが、私は子どもです。なので、子どもの立ち場から見ることができても良かったです。PTAのみなさんが私たちのためにたくさんのお話をやつていて知りとてもうれしかったです。

危険度の高い箇所が12か所もあり、その中の9か所には横断旗がせつちされた聞き、私の通学路にもあつたので危険なのだと思います。

議員のみなさんが町のことをたくさん考えてくださつていたのを改めて知ることができうれしかったです。

小布施町議会を見学して

鈴木 莉乃

私は、議会見学ができて、良かったと思いま

した。

議会は、ちょっと怖そうないイメージがありました。が、そこまで怖くなく、ちよつとゆつたりしているような感じもありました。が、空気が張りつめていて、少し緊張しました。

その中で、議員の皆さんは、通学路の危険の事、町図書テラソの事、臨時職員の方達の事など、しっかりと考えて下さつており、感謝の思いでいっぱいです。

確かに、通学路の肉の竹の屋さんの所は、ちよつと危険だと思えます。コミュニティーの所も、渡る時に、車が危ないと思います。その他の、通学路の安全について、対応していただければ、ありがたいと思います。

編集後記

アベノミクスの影響が表れ始めた春。市村町政三期目の最初の予算となる25年度予算を承認しました。しかし、今年度は付帯決議を採択し、予算の執行に十分に留意するよう求めました。人事案件が提出されたが副町長の席が空席となつていて。行政運営に支障がないようお願いしたい。春は入学の季節。幼稚園、保育園、栗が丘小学校、小布施中学校と希望と夢の生活が始まつた。フアイト！

発行責任者	
議長	小淵 晃
議会広報常任委員会	
委員長	小林 一広
副委員長	小西 和実
委員	渡辺 高
〃	小林 茂
〃	小淵 見
〃	渡辺 建次
〃	小林 正子

付帯決議

平成25年度一般会計予算の執行にあたり、下記の事項について慎重に対応することを強く求める。

記

(1) 財政調整基金の繰り入れについて

財源不足を補うため財政調整基金の取り崩しをしているが、基金の目的を考え、事業の見直し・精査を行い、支出の圧縮に努めることを求める。

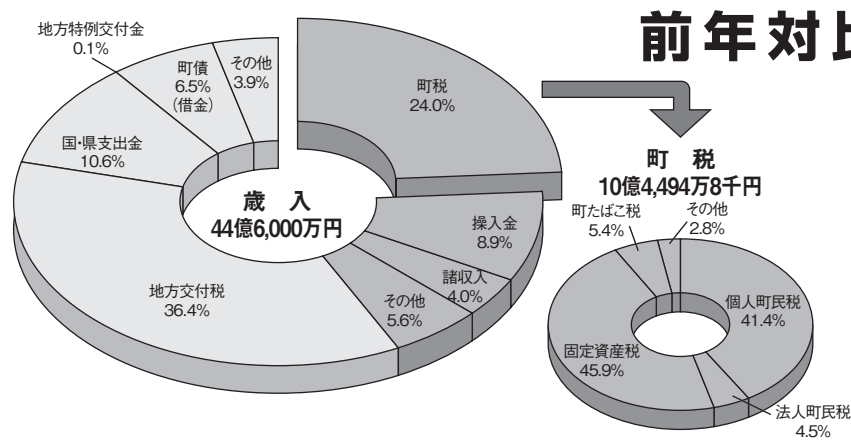
(2) 委託料の圧縮と選考基準の明確化について

定住促進事業費、若者会議事業費、起業家誘致事業費などに多くの委託料が計上されている。それぞれの趣旨は理解できるが、委託先の決定に際しては、選考基準を明確にし一層の透明性を確保するよう求める。

以上、決議する。

平成25年3月22日 小布施町議会

平成25年度予算



一般会計予算

◎ 歳入

① 町税

○ 「法人町民税」

新たな小売店の進出などで、前年度比24.5%増の4864万2千円を見込む。

○ 「固定資産税」

これも新たな小売店の進出で、前年度比1.2%増の4億9110万1千円を見込む。

② 寄付金

○ 「消防費寄付金」・・・17万5千円

Q 各分団で、長靴などの購入費の2割を寄付させられているが、これは町で負担すべきであり、廃止すべきだ。

A 今年度検討します。

③ 繰入金・・・3億9624万4千円

〔前年度比+1億9174万3千円(+93.8%)〕

公会堂等耐震改修事業のためのものが2億8900万円、財源不足を補うためのものが9000万円、エンゼルランドセンター設計費1050万円、公衆トイレ改修工事費510万3千円など。

Q 財源不足を補うための基金9000万円の取りくずしの見解は。

A 本来は起債かもしれないが将来に負担を残さない方向でこのようにした。適正な取り崩しと考えている。

◎ 歳出

① 人件費

「一般職人件費ほか」・・・5億6185万8千円

Q 人件費の抑制は行なわれているのか。

A 一般職員数は85名、昨年度より1名減っているが、定規昇給分で総額は増加した嘱託職員

は30名で臨時職員は158名です。

② 同報無線事業費・・・355万6千円

Q 同報無線以外の方は考えているのか。

A デジタル化の中で模索中。複数のメディアが必要と考えている。

③ 若者会議事業費・・・494万9千円

Q 若者会議の目的は。

A 次世代の若者が想いを語り、小布施に目を向けてもらうと共に未来の日本を考える、定住促進の意味もある。

④ 職員研修費・・・650万円

Q 議会からの要望で、コンサルをやめたのか。

A 5年間で見直しをした。

⑤ ブランド戦略事業費・・・2131万2千円

Q ブランド部門はどのように分離したのか。

A ブランド戦略は町で責任をもって行なう。それ以外は会計を分けて公社が運営。

⑥ フラワーセンター整備事業費・・・535万円

Q 改修の目的、地元との調整等は。

A 物販及び簡易宿泊の整備、地元との詰めはこれから。

⑦ 水道事業会計「動力費」・・・3213万円

Q 昨年より1000万円程増加したのはなぜか。

A 発電燃料費の大幅な値上がりが見込まれるため。

民生費 11億7210万円

◆ 新しい地域公共交通の確立・・・351万円

Q 地域公共交通会議のメンバーは何人でメンバー構成は、公共交通活性化検討調査委託先はどこか。

A 委員15名で、運輸・金融等の専門家、町内有識者等で構成。10月からの本格運用開始に向

けて公共交通ネットワーク計画策定を委託予定

◆ キッズキッチン講師謝礼・・・116万円

Q キッズキッチンで、町内講師の養成はどうなっているのか。

A 本年度はインストラクター6名の養成を予定。そのため謝礼とは別に予算を計上

◆ エンゼルランドセンター整備事業・・・1050万円

Q エンゼルランドセンターの概要は。建設工事費はどの位見込んでいるのか。設計委託先は慎重に選定して欲しい。

A 新エンゼルランドセンターを平成26年度に建設を予定。本年度は指名競争入札で設計を委託する。

衛生費 26億6613万円

◆ 養育の必要な低体重児への支援・・・14万円

Q 未熟児養育医療費給付事業が今年から始まるが、24年度は該当する子どもがいなかったのか。本人負担はあるのか。

A 平成24年度は、まだ県から実績報告がきていない。平成23年度は、1名の方が該当。所得税により、自己負担額が変わる。

◆ スマートソーラー設置工事・・・350万円

Q スマートソーラーの設置場所と内容は何か。

A 東大との連携事業で、人目のつく公共の場にLED内蔵の太陽光発電外灯3基を予定。

教育費 5億1253万円

◆ 幼保小中一貫事業費・・・692万円

Q 講師謝礼等131万円の詳細を聞きたい。メンタルヘルス、一般教育の内容は何か。

A 体罰問題研修会を新規に取り組みするための予算と昨年に続きフォーラムを計画している。

◆ 小学校環境整備事業費・・・988万円

新規予算の使い道

- ① フラワーセンターを新たな都市農村交流の拠点に・・・535万円
- ② 新しく図書館を設置と条例も策定・・・1,161万円
- ③ 新しい地域公共交通として町内巡回バスを本格運用・・・351万円
- ④ エンゼルランドセンターの建設準備開始(設計)・・・1,050万円
- ⑤ 定住の支援とコーディネート・・・1,300万円
定住・中古住宅等購入、リフォーム費用助成、住まい・働く場の相談員を配置
- ⑥ 通学路の安全対策・・・172万円
小布施町の景観に配慮し、カラー舗装で安全を確保する。
- ⑦ きれいな町づくりの条例を制定・・・ゼロ予算
きれいな町づくりに向けた研究を進めます。
- ⑧ H-LAB×小布施を開催・・・150万円
ハーバード大学の学生と町内外の高校生が小布施で将来設計を考える。

Q P T A 会館取り壊しで、跡地利用はどうするのか。築山がなくなって子どもたちの遊び場がなくなっているのを検討して欲しい。

A 跡地は空間を保てるような利用方法を学校側と協議中。築山は音楽堂の前に作る。

◆ デジタルアーカイブ事業費・・・384万円

Q 議会から見直す要望に対してどのように対応したのか。

A 全国から注目の事業であり、小布施と100選は急ぎたい。経費については精査する。

以上、一般会計予算を原案可決

国民健康保険特別会計 13億54万円

◆ 一般被保険者保険税・・・2億5247万円

Q 一般被保険者国民健康保険税の滞納者は何人で、滞納額はどのくらいか、退職被保険者はどうか。

A 一般被保険者と退職被保険者の滞納者の人数は把握していない。

原案可決

◆ 後期高齢者医療特別会計・・・1億668万円

原案可決

介護保険特別会計 9億605万円

◆ 居宅介護サービス給付費・・・3億1851万円

Q 居宅介護給付費が増加し、介護予防費が減額しているが介護度が重くなったからなのか。

A 前年度の伸び率を反映させて見積もった額であり、介護度の変化と連動しているわけではない。

原案可決

◆ 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計

・・・97万円

原案可決

◎2月会議補正予算可決

○町有林管理（間伐）委託料 181万8千円

Q町有林面積と今回の間伐範囲は

A町有林面積は70.9haで今回は、8.5haの間伐を実施。

○町長選挙費 △373万6千円

（町長選が行なわれなかったための減額）

総務産業常任委員会

◎3月会議補正予算可決

○耐震補強工事・改修工事補助金 6310万円

（公会堂耐震改修に対する補助）

○高齢者等タクシー利用給付金 31万7千円

（利用増を見込んだことによるもの）

○基金への積立金 9729万2千円

（大規模建設＝エンゼルランドセンター＝事業資金積立金など）

○予備費 1000万円

（除雪対策費など）

○「小布施町公文書管理条例」

（町が保有する公文書等の管理に関する基本的事項を定める）

①町の機関（執行機関・議会）で保有する公文書の管理

②文書館（4月24日開館予定）で保存する「保存期間の満了した歴史公文書」と「法人等又は個人から寄贈・寄託された古文書等」の管理・利用——全国で11番目、長野県では初の制定

○地域主権一括法に係る条例の整備として

8件の条例制定

（従来は法律及び政省令で規定されていたものが町の条例で規定されるようになった）

Q文書取扱い規程と公文書条例との整合性は。

A文書取扱い規定は内規である。

Q管理状況の概要や目録の公表方法は。

A概要は、広報紙又はホームページ等を利用し、目録は閲覧室に備え付けます。

2月会議

3月会議

委員会の報告

社会文教常任委員会審査報告

●文書館の設置及び管理に関する条例（新規）

Q運営のための職員は何人か。資格は。

A館長は職員学芸員、臨時職員2名で、特別資格は要しないが古文書が読めることが必要。

Q旧図書館は使い勝手が悪いがどのように改善するのか。親しみやすい愛称を。

A古文書は定期的に燻蒸が必要。収蔵庫までは下足で可能。身障者等の配慮をきちんとしたい。愛称は公募したい。（原案可決）

●ひとり親家庭児童高校入学・就職祝金支給条例（新規）

Q福祉年金18万円、福祉手当21万6千円これらを廃止して祝金5万円では福祉の引き下げであり反対だ。

A大半の自治体は年金から祝い金へ移行。子育て支援の中で5万円は妥当であると考える。

Q従来の手当・年金を段階的に廃止し、祝金制度に移行すべきと思うが。

A子育て支援全体としてとらえ提案の新条例にした。〔原案否決〕

※ひとり親家庭福祉の増進を図ることを否定するものではなく、既存の条例との関連や該当者への告知方法のあり方など、真にひとり親家庭の福祉増進につながる条例になるよう再度検討されることを望み否決したものです。

●24年度「国民健康保険補正予算」 補正額12万2千円

Q財産収入は3月に確定したものか。財政調整基金は一般会計の基金と違うのか。

A財産収入は一般会計等が確定後に各会計に按分した結果であり、調整基金は介護保険の基金である。（原案可決）

●24年度「介護保険補正予算」 補正額2265万2千円

Q居宅介護給付費が増えた理由と特定入所者介護サービス給付費が減ったのはなぜか。

A介護度が上がった訳でなく、受けたサービス量の増減によるものだ。（原案可決）

※記載条例以外の2条例は報告を省力。理由は「地域の自主性及び自立性を高めるための関係法律の整備（第2次一括法）」によるものであり、町の裁量がほとんどないものであり、いずれも原案を可決しました。

政策立案常任委員会

◇生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める陳情書……採択 陳情人

長野県生活と健康を守る会連合会

会長 大坪 勇

◇地方交付税制度の堅持を求める国あて意見書採択を求める陳情……採択 陳情人

須高地区労働組合会議

議長 岩田 修二

新たな事業を 取り入れ積極財政

賛成討論

小林一広

デフレ脱却を目指す新政権、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の方針の中、黒田日銀新総裁が決まり新たな時代を感じさせます。そのような状況の中、町の平成25年度一般会計予算が決まりました。地方が地域の特性を生かし、活気溢れる「まちづ

くり」を進めて行く「地方の元気」が不可欠で人が主役のまちづくりを目指すことが必要との認識のもと、「町民力」を最大限発揮できる環境をつくり、安心して暮らせる町、暮らしの豊かさを実感できる町、魅力的で活気に溢れる町を創ることを目指し、編成されました。 おおむね賛成はするものの付帯決議が可決されました。その点を理解し執行を望む。

安心安全の まちづくりの観点 町民負担軽減の施策に欠ける

反対討論

小林正子

★土木費、消防費地元寄付金は地財法「割当的寄付金の禁止」に抵触。必要な事業は町費で
★巡回バス本格運行早く
★母子・父子家庭児童福祉年金・手当をやめて中学卒業祝い金創設は、大幅減額になる。冷たい施策は認められない

★部落解放関係団体補助金すえ置きは答申違反。早期廃止を
★放課後児童クラブはどの子も受入れできる態勢を

★鴻山記念館は老朽化、防災対策はやく
★住宅リフォーム助成制度継続すべし
★若者会議継続は疑問
★住宅部分耐震補強に補助金を
★大震災の教訓からも、町職員の定数増と正規雇用の促進を。

人事案件

◎小布施町副町長の選任について

小西 勝氏

否決

賛成・5人

反対・6人

退席・2人

◎小布施町教育委員会委員の任命について

竹内 隆氏

承認

賛成・12人

反対・1人

監査委員報告

例月出納検査の結果に関する報告書

平成24年12月19日現在、平成25年1月22日現在、平成25年2月22日現在における現金・預金及び収支計算書その他の資料に記載されたこれらの金額はいずれも誤りは無いものと認められました。

意見

まちとしょテラスの備品が必要以上に高価なものが散見される。

町民の声を予算に反映

町民の皆さんの要望・声を平成25年度予算に反映するため、予算編成前の10月30日に12項目の要望書を提出しました。

その結果、充分ではありませんが多くの点が反映されました。

この様なことは他市町村議会ではあまりなく、議会の活性化の成果です。

1. 同一コンサルタントによる長期の委託契約を打ち切ること	今年度は契約無し。
2. 小布施ブランド戦略事業に対しては「町振興公社と行政の関わりを明確にした委託料の計上を」と要望	町と振興公社の会計を整理される。
3. 有害鳥獣駆除従事者の確保 新規資格取得者を支援するための制度 設備と予算付けを	予算の執行時に配慮する。
4. 町と連携する大学の活動 (東京理科大学、法政大学、信州大学) の研究目的を明確にした予算付けを	配慮された。
5. 行政改革の推進 適正な人員配置と職員数で人件費の圧縮に勤めて欲しい	その方向で進める。
6. 町雨水排水計画策定のための予算付けを	全体計画は今後実施。 雨水マスは町内4ヶ所に設置の予定。
7. 定住促進などのアドバイザー委託の予算付けを慎重に	要望にそって行う。
8. セカンドブック事業の予算化を生まれた子供全員に無料で本を配り、親が読み聞かせる、ファーストブック事業に続く取り組み	家庭内の読書習慣のきっかけづくりに、今後の予算執行で。
9. 教育施設へのエアコン設置 優先順位をつけて計画的に進めて欲しい	保育園・幼稚園への設置に対する予算が計上された。引き続き小中学校への普及に努める。
10. 食育の推進 町内講師の養成、育成のための予算化を	町内6名のインストラクターの養成を予算化。
11. 図書館のデジタルアーカイブ事業 町民にわかりにくい事業であり、予算付けにあたり、目的の事業効果がわかる配慮を	テキストや教材としての利用規定の明確化にする。
12. 縦割りでない効率的なリース契約 部門ごとでコピー機などの契約に価格差があり非合理的。最低価格の業者に統一するなどの改善を	利便性・効率化に向けて、改善する。

議会報告・意見交換会

町議会の活動状況を報告し、町民の皆さんのご意見、ご要望をお聞きするため、毎年予算が決まった時期の3月に開催しております。

本年は3月28日、町としょテラスを会場にし、3月31日には上松川コミュニティに出張して開催いたしました。

その席で頂いたご意見等は次のとおりです。

- 緊急装置AEDの設置はどこにあるのかを聞いたがほとんどの方が知らなかった。もうちょっと周知してほしい。
- 文化体育館入札の件は問題はなかったか。その事について入札の質問をした議員がいたがどのような答えだったのか。
- テラスは3,600万円程の大きな予算がなぜもらえるのか。
- 随意契約がどのくらいあるのか、お聞きしたい
- 議会のチェック機関として、25年予算をどのように認めたのかそこを知りたい
- 個々の議員の活動をしてる報告を聞きたい
個々の議員報告の数も知りたい
- 議会改革の件で問題点はあるのか
- 随意契約の範囲は、デジタルアーカイブ、お肴謡いの契約等、一部の人々だけに契約している様だが
- 町長・議会とも無投票、どの位の支持を得たか分からない。ともに区民の代表、信任投票ということはできないか。
- 自分の意見を述べる。無投票程責任を持つ。

- 有害鳥獣駆除者は何人か、若い人は入ってくるのか
- 陳情、要望が町政懇談会での要望と今日の議会での要望とはちがうのか。
- 議員定数については、議員はどのように考えているのか
- 議員が定数問題を検討している時に住民の方は参加しているのか
- 住民と大学の先生との懇談会も必要だと思うが
- U字溝は松の実自治会だけでなく我々千両も大雨が降ると自宅に入ってしまうので直して欲しい
- 千両の南の松川堤防で犬のフンが多い。特に冬は大変なんです
佐久市等は条例で決められているが小布施町(散歩者(犬の))に条例はできないのか
- 議員視察に行った後、議会で生かされていますか
- 我々は議員任せになっているので、大いに議員に動いてもらいたいと思います
- 我々は政治にあまり興味を持っていないが、我々と同じ目線で、話のできるようにして頂きたい
- 今後も意見交換の機会を設けていただきたい。



※頂いたアンケートの集計は次回報告致します。ありがとうございました。



小布施町振興公社

Q 小布施町振興公社は平成24年4月1日より財団法人から一般財団法人へと変わった。主務官庁の監督から離れ、公社自らが地域振興のリーダーを目指し、自由経済社会の中で積極的な収益事業も可能な状況となり、経営的に自立して行ける環境になっ



小林一広 議員

答 民間の株式会社に近い状態になってきている (田中対策幹)

小布施町振興公社はどのように変わってきているか

た。それに見合って農家の所得も向上するののか。

① 一般財団法人になってどの様に変わってきたか。

② 小布施屋と6次産業センターの区別、在り方が今一つはつきりしないがそれぞれの役割と目的は。

③ 個々の農家の収益が伸びていないとしたらその要因は。

④ 今後目指す方向は。

A ① 収益事業に特化できる社に近い状態になった。

② 6次産業センターは主として会員農家が持ち寄る農産物の直売所。小布施屋は小布施の果物をPRや販売するための屋号です。

③ 前年より増加している。

④ 収益事業の展開を進め、販路開拓、農家の所得増を目指してゆく。



雁田山裾野から見た小布施町の景観

自然環境と景観等におけるメガソーラーの関係は進めたい (中條リーダー)

Q 小布施町は景観を大切にしている町です。都市部と農村部の調和のとれた美しい景色とデザインにより創造されている事が望ましい。創造が破壊につながる可能性がある。小布施の美しい景

A 実証的導入を進める中で、地域の景観との調和を大切にしたい。実際の導入にあたっては、エネルギー会議や地域住民の皆さんの声も届きながら、景観も大切な環境として進めたい。

小布施町議会 3月会議

3月会議の一般質問は、3月8日と3月9日行われ13人の議員が質問しました。

- 小林 一広………8
 - ①一般財団法人になって小布施町振興公社はどのように変わってきているか
 - ②自然環境と景観等におけるメガソーラーの関係は
- 小林 茂………9
 - ②組織改革と職員能力向上対策
 - ②夜間・早朝の訪問介護の現状と今後の課題は
- 関谷 明生………10
 - ①時限的給与引き下げと65歳までの雇用義務化の対応は
 - ②通学路の交通安全の確保調査と対策は
- 小西 和実………11
 - ①図書館運営の早期改善を
 - ②町臨時職員の待遇改善を
- 小林 正子………12
 - ①3.11 から2年 小布施の防災は
 - ②町内巡回バスの運行本格実施を
 - ③小布施町の構築物の安全確認と保守点検
- 川上 健一………13
 - ①小布施町の農業の今後は
 - ②中学三年生学習支援セミナーの成果は
 - ③エネルギー会議の今後は
- 大島 孝司………14
 - ①健康づくり研究所の現況は
 - ②小布施町定住支援センターの現況は
- 山岸 裕始………15
 - ①小布施カントリーウォーク事業の民間委託について
 - ②定住促進アドバイザーについて
- 富岡 信男………16
 - ①道路・水路等の地元寄付金の廃止と道路等の計画的整備の推進
- 渡辺 高………17
 - ①いじめ問題
 - ②体罰問題
- 関 悦子………18
 - ①食育・学校給食と地産地消
- 原 勝巳………19
 - ①駅前の活性化
 - ②凍結時の踏切りスリップ事故防止対策
- 渡辺 建次………20
 - ①体罰もいじめもない学校生活
 - ②移動支援としての有償運送
 - ③喫煙に対する町の考えは

議会議員研修報告

① 土地改良区との意見交換



1月25日、JA須高小布施支所2Fにおいて、意見交換会を行いました。

② 中野市・山ノ内・小布施町議会の親睦球技大会が山ノ内公民館で1月29日に行われました。

③ 町村議会広報研修会
住民の理解と関心を深めるため、議会広報の向上発展を目的に長野県自治会館において、1月31日に行われました。

④ 教育委員との意見交換



2月12日、栗が丘小学校で意見交換会を行い、昼食は議員全員が学校給食を頂きました。

⑤ 上高井町村議会・議員研修会



2月15日に高山の(保健福祉総合センター)で高山村議会・小布施町議会での県の温暖化対策課の担当者の講演を聞きました。

⑥ 部落解放同盟小布施町協議会と意見交換会を公民館講堂にて行いました。2月18日



小林 茂 議員

町職員の「意識改革」と「行動変革」が求められている。その目的達成のために二十四年度の職員研修費総額一〇一二万円が計上・実施され一定の成果が上がっているものと思われるが

①職員力が十分発揮するための組織改革の進捗状況は。②視察・研修など国内外に積極的飛び出す



意識改革と行動変革が求められる

組織力と職員力アップは

答 臨時職員にも研修参加を検討

チャンスを大いに与えるべきと思うが実績はどうか。③これら研修の結果数字で表れる職員提案制度を活用した提案件数と審査結果はどうか。

①職員力が十分発揮できるための組織とは、町が目指す地域の姿と政策を部下である職員と共用・認識し、自ら率先して仕事に取り組むとともに、施策を遂行する職員が主体的に仕事に取り組むことができ、職員同士が相互に協力し合える職場環境づくりに努めていくことであると考え

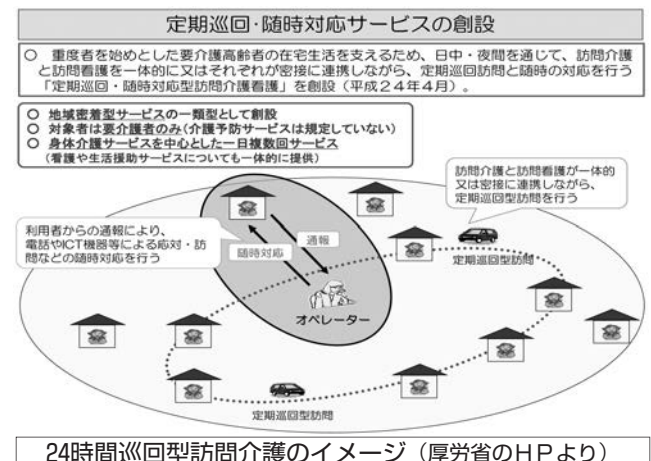
②先進地視察研修など職員が企画する視察研修を制度上制約しているものは全くない。本年度は3件の見込み。他の能力別研修等には自ら手を挙げて参加しているものも多数ある。③平成

二十二年度以降提案は無いが、活発な提案ができるようキッカケづくりが必要と認識している。臨時嘱託職員についてもできるだけ研修に参加させていきたい。

24時間訪問介護は

当面予定はない (竹内参事)

二〇一二年度介護報酬改訂の目玉であった24時間巡回型介護は、住み慣れた土地で暮らし続けられるように後押しして、施設から在宅介護への移行を促す狙いであったが、新聞報道では県内自治体では採算面と、介護職員の不足などの理由から実施されていないとのことだが市町村がその枠を超えてサービス提供をする仕組みを工夫することが必要と思うが。



①24時間巡回型介護サービスが全国的に浸透しない理由は、サービスの理念と実際の介護現場に大きな離れがあるからと考える。実際のニーズ把握は、利用者・事業者の意見を伺いながら構築しており、当面導入の予定はない。

時限的給与引き下げと65歳までの雇用義務化の対応は

答 ラスパイレス指数からも引き下げは必要が無い 雇用義務化は民間と同様の対応になると思う (市村町長)

Q 昨年の4月から東日本大震災の復興費用を捻出するため国家公務員の給与が平均7.8%減額されています。地方公務員も平成25年7月から国に準じて削減するよう要請されています。しかし当町のラスパイレス指数は国家公務員の給与の削減前においては91.2%、削減後でも98.7%

となっており削減は必要無いと考えますが町の見解は。65歳までの希望者の雇用延長を企業に義務付ける改正高年齢者雇用安定法が4月から施行されます。地方公務員にも同様の措置が取られると思いますが対応をお聞きします。

A 平成25年1月24日地方公務員の給与も国に準じて必要な措置を講じるよう閣議決定されました。地方交付税を削減しその財源を防災・減災事業費及び地方の元気づくり事業費に充てると説明しています。しかし当町の現状ラスパイレス指数からも給与引き下げは実施する必要がないと判断しています。雇用義務化は昨年の第181回臨時国会に所要の法案が提出される予定でしたが提出には至りませんでした。公務員におい

通学路の危険箇所調査と対策は (池田推進幹)

危険頻度が高い12カ所を選定実施 (池田推進幹)

Q 平成24年5月30日付で文部科学省より学校、道路管理者、警察、関係機関の連携による通学路の安全点検及び安全対策を講じる通達が出されました。当町でも実施されたと思いますがその調査内容と結果並びに対策は。



県道中野小布施線と町道258号線交差点

A 昨年の8月27日町教育委員会、小学校教職員、須坂警察署、小布施町交番、須坂建設事務所、町の担当グループにより

団体名	平成24年ラスパイレス指数		増減 (H23→H24)	
	ラスパイレス指数	措置前指数	指数	措置前指数
小布施町	92.5	98.7	91.2	6.2 ▲1.3
高山村	95.8	103.7	95.7	7.9 ▲0.1
山ノ内町	93.4	101.1	93.3	7.7 ▲0.1
木島平村	93.5	101.0	93.2	7.5 ▲0.3
野沢温泉村	90.6	97.9	90.2	7.3 ▲0.4
信濃町	94.3	102.3	94.4	8.0 0.1
小川村	92.2	99.5	91.9	7.3 ▲0.3
飯綱町	95.9	102.6	94.6	6.7 ▲1.3
栄村	93.2	100.4	92.7	7.2 ▲0.5

※「措置前指数」は、国家公務員給与引き下げ措置反映前の値である。

北信地区町村ラスパイレス指数

必要な措置を講じるよう閣議決定されました。地方交付税を削減しその財源を防災・減災事業費及び地方の元気づくり事業費に充てると説明しています。しかし当町の現状ラスパイレス指数からも給与引き下げは実施する必要がないと判断しています。雇用義務化は昨年の第181回臨時国会に所要の法案が提出される予定でしたが提出には至りませんでした。公務員におい

通学路として危険箇所と思われる12箇所を実施しました。2箇所は問題なし。1箇所は通学しないよう徹底し、9箇所は横断旗、路側帯のカラー舗装化、通行車両の速度抑制、ドットラインの設置を要望し7箇所について改善措置をすることに決定しました。平成25年度に取り組んでまいります。

度に取り組んでまいります。



小西和実 議員

図書館運営態勢の早期是正を！

答 新設した町図書館協議会により進めていく (中島教育委員長)

Q 11月末で前館長は退任し、現在は教育長がそれ以降兼務している状況が続いており、4月以降についても未だ新しい館長が決定されていない。これは現在の状況は行政上の失敗ではないのか。また、24年度は運営費等に約



およそ80万円のテラソのソファ。高額な備品が他にもたくさんある。

4196万円、デジタルアーカイブ事業に658万円と、年間およそ5000万円をかけて運営している小布施町図書館まちとしょテラソは、経費をかけ過ぎであると見受けられる。25年度予算では、運営費におよそ3166万円、デジタルアーカイブ事業におよそ383万円が計上されており、24年度よりは縮小されているが、実際の内容からすればさらに半分にするくらいの努力が必要ではないか。また町外への情報発信にばかり傾倒している現在の方向性を修正し、町民利用を主体とした運営を行っていくように姿勢を変えてほしいという要望を町民のみなさんから頂いている。こうした民意を反映して、地に足の着いた町民に目を向けた運営を行っていく考えはあるか。

今後の図書館運営の方向性について、具体的に説明を頂きたい。

A 前館長については、継続なども考慮していた。12月以降は教育長が図書館長を兼務し、事務局職員がそれぞれ直接関わりながら図書館業務に支障をきたさないように進めている。現在は公募により、図書館長の募集を開始している。前館長退任後、PTAの代表や各種団体のみなさんによる町図書館協議会を設置して、今後の図書館運営の方向性や次期の館長像なども検討している。

町臨時職員の待遇改善を！

今後とも充分に配慮していく (小西副町長)

Q 小布施町職員として勤務している臨時職員等の人数

は200名を超えている。この方々の中には実際には正規職員と同等の職務を行っているにもかかわらず、給与待遇については大きく格差がある方がいるのではないかと。生活をしていくには一定の給与が得られなければ、将来に向けた生活設計ができない。小布施町では、平成25年度の予算において、定住の促進という観点からすると合計で6500万円以上もお金をかけるが、それよりもまずは、今この間に小布施町のために働いている皆さんの待遇を改善していくべきではないか。

A 同一労働同一賃金については理念としては理解できるが、各論になると判断は大変難しい。非常勤職員の処遇改善については今後とも充分配慮していく。



小林正子 議員

大震災・原発事故2年 町の防災をしっかりと進めてほしい

答 原発事故想定のある防災計画を個人住宅耐震補助は90万円まで拡充になりました (西原リーダー)

Q 大震災2年、被災者の苦しみ悲しみはけつして薄れませんか。

A 原発事故対応の町防災計画見直しはどうか。原発ゼロでも長期の廃炉過程で事故の危険は常にある。

A 原発事故想定のある防災計画を町防災会議で承認。屋内退避や避難勧告を定め、関係機関や近隣市町村、交流市町村と連携する。

Q 行動マニュアルや地域支援えあいマップは平常時に活かさなければ災害時に役立たない。一人暮らしの方の見守りにも活用を。全自治会で作成完了。マップは作成段階の共有情報により見守りに活用されています。

A 自治会公営会堂、個人住宅耐震補強はどうか進んでいるか。居住スペースだけの部分耐震にも補助をつけてほしい。

A 11自治会が公会堂を来年は累計267戸、内13戸が補強実施。国は1戸当たり30万円を加算し、国県

町の補助金の上限が90万円となる。町の補助金交付要綱の改正を急ぎます。部分耐震への補助は国の補助制度とあわせ検討します。

Q 松川砂防ダムは土砂で埋まってきた。千曲川旧流路部分堤防は細亀裂が無数に入っている。堤防の抜本的補強が必要ですか。

A 18年増水の後、堤防を補強した。国が立花花狭窄部

開削工事を始め、この土を高速道と堤防の狭間地に埋めて堤防強化している。

Q 未然に防ぐのが防災。噴砂被害があり、亀裂のある旧流路部で地盤確認のボーリング調査が必要。新幹線橋脚下流が中州化している。国、県にしゅんせつ要請をすべき。

A 国の河川整備計画での対応を町として見守ります。

JR豊野駅に接続など巡回バス早期運行を

近隣への乗り入れも視野に進めます (竹内参事)

Q 町内巡回バスの試験運行が今回は「誰でも気軽に利用できる公共交通機関」として行われた。排出ガスを減らす環境面から

も大事だ。豊野駅への接続の希望もある。早期の本格運行を願う。

A 利用は低調だったが、今の構案への期待もアンケートで

だいています。高齢社会や地域づくりを見据え、近隣等への乗り入れ検討も含め来年度も実証を兼ねて運行します。

照明・音響吊り具の点検を積極的に取組みます (池田推進幹)

Q 小布施橋の錆が目立つ。一九六八年竣工、長寿命化のため錆止め塗装が必要ではないか。

A 小布施橋は20年に1度の塗り替えで現在10年目。県の橋梁修繕計画に加えるよう要請。耐震構築物も天井崩壊。

Q 体育館の照明吊り具・天井点検を。

A 定期点検、専門業者の点検に今後は積極的に取り組



腐食して穴が開いた小布施橋欄干



川上健一 議員

Q 小布施町の農業の新分野を切り開く方策を考えていますか。

A 新分野と言う事はなかなか大変なことで、誰もやらなかったこと、全く新しい農産物を開発する、あるいは今国がやるうとしている大規模農業は、小布施町にとって非現実的で、町の専

Q 農業後継者の育成、農産物の販路拡大、生産施設の整備が課題

A 小布施町の果樹農業は充分戦っていけると考える。課題として、農業後継者の育成、農産物の販路拡大、水田の揚水や畑かんといった生産施設の基盤整備の3つをきちんと進める事が、小布施町の農業振興につながると考えている。

小布施町の農業の今後は

答 農業後継者の育成、農産物の販路拡大、生産施設の整備が課題

(市村町長)

Q 農業経営の大規模化、効率化のための団地化、集約化の働きかけは。

A 農業経営を効率化し、大規模農業を目指す農家を支援し、育成することは必要と考える。

Q 農業従事者の高齢化が進んでいるが、共同生産組織に向けた働きかけは。

A 昨年から新規就農支援事業を進めている。また既存の農家で、農業法人化、集団化を考える農家に対して支援する制度を整えていく。

Q 町長の農業立町に対する考えは。

A 町長は農業立町に対する考えは、町民の健康で豊かな長寿社会の実現を目的として、設置は町が行い、実務は新生病院に委託する。これまで研究内容を実施協定を締結する予定である。ハード整備を行うと共に、ウォーキングにおける基礎データ収集を行ってきた。今後は、ウォーキングによる健康づくり、ロコモティブシンドローム(※)を研究テーマに、住民アンケートを実施し、成果をシンポジウム形式や冊子等で公表していく。



太陽光発電パネル設置住宅

Q 今後エネルギー会議をどう進めていくのか。

A 実証実験を通じ、町の自然エネルギーのあり方を検証しつつ、会議を進めていく。

Q 中学二年生学習支援セミナーの成果は。

A 今回の学習支援セミナーの成果は。アンケートでは95%の生徒が良かったと答えた。不参加の生徒に対する支援は。希望生徒に対し、他の学

Q 農業従事者の高齢化が進んでいるが、共同生産組織に向けた働きかけは。

A 昨年から新規就農支援事業を進めている。また既存の農家で、農業法人化、集団化を考える農家に対して支援する制度を整えていく。

Q 町長の農業立町に対する考えは。

A 町長は農業立町に対する考えは、町民の健康で豊かな長寿社会の実現を目的として、設置は町が行い、実務は新生病院に委託する。これまで研究内容を実施協定を締結する予定である。ハード整備を行うと共に、ウォーキングにおける基礎データ収集を行ってきた。今後は、ウォーキングによる健康づくり、ロコモティブシンドローム(※)を研究テーマに、住民アンケートを実施し、成果をシンポジウム形式や冊子等で公表していく。

健康づくり研究所設立の進捗状況は

答 年度内には新生病院と実施協定を締結予定

(竹内参事)



大島孝司 議員

Q 「治療医学から予防医学へ」という観点から、病気で長生きするのではなく健康で長生きする長寿社会の実現を目指すべきと思うが、24年度新規重点施策である「健康づくり研究所」の設立状況はどうか。また今後の計画はどうか。

A 町民の健康で豊かな長寿社会の実現を目的として、設置は町が行い、実務は新生病院に委託する。これまで研究内容を実施協定を締結する予定である。ハード整備を行うと共に、ウォーキングにおける基礎データ収集を行ってきた。今後は、ウォーキングによる健康づくり、ロコモティブシンドローム(※)を研究テーマに、住民アンケートを実施し、成果をシンポジウム形式や冊子等で公表していく。



定住支援センターのある地域創生部門

Q センターの活動内容と施策一年目成果はどうか。

A 昨年四月から一月末までの相談件数は、電話相談が約150件、空き家や空き店舗など現地の確認が60件、そのうち成約にいたった件数は住宅が5件、空き店舗が2件であった。

Q 施策二年目としての政策の展開と今後の計画は。

A 定住人口を増加させるためには様々な課題を緩和・解決していく必要がある。また魅力的なまちづくりを加速させる政策を同時に展開させることで、さらなる定住人口増加につなげていきたい。



健康づくり研究所を設置した新生病院

Q 小布施町で暮らしたいという方の窓口として、24年

Q 小布施町で暮らしたいという方の窓口として、24年

Q 施策二年目としての政策の展開と今後の計画は。



山岸裕始 議員

カントリーウォーク事業の民間委託を

答 事業効果をあげるため、できるだけ委託を考えていく (富岡推進幹)

事業目的を『ウォーキングを小布施の新しい観光資源として、観光を「見る観光」から「自然や文化、人と触れ合う交流観光」に変えていきます。』と

が高いと考えます。

くつていく。

あります。

グを小布施の新しい観光資源として、観光を「見る観光」から「自然や文化、人と触れ合う交流観光」に変えていきます。』とありますが、事業の継続的な活動のために「町民へのウォーキングの推奨・普及」が必要不可欠と考えます。「イベント」を運営とウォーキング普及に向けて今後の展望の検討を含めて町内民間団体への委託や協働が妥当では。

また委託の際、2〜3年間イベント開催をしていただいた後は「ウォーキングコースへの看板などの設置」の検討をして、イベント時以外にも町民が町を歩く方法までを検討することで、イベントに頼らない継続的なウォーキングの習慣化を期待しますが町の考えは。

実現に向けて観光協会や町歩きガイドの皆さんと農村部のPRとともに健康づくりの町を発信していく。

委託料を出す以上、その料金に見合う成果が必要で、委託先の業務内容が事業の遂行の為に妥当であったか検討し、来年度の委託先の選定を再度検討する必要があると考える。

民間団体主導で行われることにより、コースの設定・下見などの過程で、町民がウォーキングをする機会が生まれる。またイベント時に町民と町外の人との交流が生まれることは現状より「町民のウォーキングの機会」の創出が加わり、事業の効果

民間で取り組んでいただき事業効果を上げることがありがたい、できるだけ委託を考えていく。

小布施町では、23年度51万円、24年度当初予算では240万円と小布施町では定住促進に向けた事業を町外の業者に委託されています。

定住促進の全体の推進体制を再度構築しなおしたい。役割と期待する成果を改めて定め慎重に進めていきたい。

イベントとして行うだけではなく日常的にウォーキングに取り組みめるように考える。

観光協会の町歩きガイドのコースに取り入れる、フラット農園との協働など町内団体の受け皿をつ

業務委託する一般的なメリットとして、業務の一部を委託することで、町が人口・農業の問題に本腰を入れて取り組むことができるという点、また外部のアドバイザーを求めることが出来るという点が



春うららウォーキング



富岡信男 議員

道路・水路等の地元寄付金の廃止を

答 違法であれば改めたい

(八代参事)

小布施町では、道路・水路・消防関係で整備に要した費用の一部を地元寄付金として徴収しています。

定があり、「地方公共団体は、住民に対し、直接であると間接であるとを問わず、寄付金を割り当てて強制的に徴収するようなことをしてはならない」とあります。このように法律では、税の徴収と同じことを法的な根拠がなく行うこととなるため、自治体が住民に寄付金を割り当てて強制的に徴収することを禁止しています。

くなくっており、税以外に町民に負担を求める地元寄付金は廃止する時期にきていると思います。

道路・水路整備の取り組みについて。生活に密着する道路・水路の整備につきましては、地元要望が大変多く、限られた予算の中では十分にお応えできない状況です。地元負担をいただくことにより、整備の必要性について地域で十分な検討をいただける機会になっていくとも考えています。

平成25年度予算では、道路事業料率によりますと、道路・舗装関係では、道路幅員別に地元寄付金が定められていて、25%から5%の負担となっています。水路関係でも川幅により地元負担が定められ、10%から3%の寄付、水路の蓋掛け10%の地元寄付と定めています。また、消防関係は20%の寄付を求めています。

小布施町では、厳しい財政状況、公共施設を大切にする観点から今まで地元寄付金を集めてきました。町長は、行政運営および財政健全化に努めた結果、その成果が確実に上がってきていると多くの場で述べています。

また、町内の道路・水路の整備状況を見ますと、地元要望があつたものを中心に建設が進められた結果、複数の自治会が関係する道路・水路の整備が遅れ、通勤・通学路に歩道がなく、車のすれ違いも困難な道路も見受けられます。地元負担金の廃止と計画的な道

路の整備の取り組みについては、計画的な整備につきましては、要望の多い水路につきましては、雨水浸透柵の整備を進め、下流の水路の流量を抑え、状況を検証しながら現況水路の整備方針を決めていきます。道路につきましては、国道403号のバイパスが今後検討される中で必要であれば町道の整備も検討していきます。

平成25年度予算では、道路事業寄付金93万3千円、水路事業寄付金百47万3千円、消防事業寄付金17万5千円、合計2百58万1千円が計上されています。

地方財政法第4条の5には、割り当てる寄付の禁止についての規



北部水路改良工事

近隣市町村の調査を行い、違法であれば改めていきます。



渡辺 高 議員

いじめ問題について

Q 昨年の滋賀県大津市立中学2年生のいじめ・自殺問題は社会的な問題となりました。

文部科学省は「いじめの問題への取り組みの徹底について」との通知（06年10月）を出しています。そこでは「早期発見・早期対応」

「教職員間の緊密な情報交換や共通理解を図り、一致協力して対応する体制」を強調し、「事実を隠ぺいするような対応は許されない」とまで書いています。大津市の事件では、いじめの深刻さとともに、学校や教育委員会の対応力のなさ、隠ぺい的な対応が問題になりました。

いじめを発見し、解決するカギを握るのはなんとと言っても学校の先生です。しかし「多くの教師から子どもと接する時間が取れない」

いじめ問題について、その解消に向けての対応は

答 児童生徒の様子を把握して必要な相談や指導を進めていきます

し、実態把握と情報交換を常に行い、対応しているところです。

体罰問題について、発生後の対応と勝利至上主義関係者に丁寧に対応し、また心を寄せる教育を実施（竹内教育長）



楽しい運動会

Q ②体罰問題について

先般、当町の中学校バレー部において、男子教諭による「体罰」が発生したにもかかわらず、通知義務に反して県教委への報告がされなかった事実が判明しました。一連の経過をどう捉え、どう対応したかについて教育委員会に伺います。

Q 子どもの心身を傷つけ、は暴力行為そのものです。子どもはのちと安全を守るべき教師が、どんな理由であれ「体罰」という名で暴力をふるうことはあってはならないことです。背景にある「勝利至上主義」や競争主義の克服が必要ですが。

A 中学校では全校生徒への説明会、部員へのケア、なかなか体罰を受けた生徒へのケア、PTA役員や全校の保護者への説明会、バレー部の顧問や当該顧問の担任のこと、県教育委員会

A 勝利至上主義や競争主義は、個性や自主性を尊重する本来の教育活動とは異なるものと思います。中学校で示した10項目を進めること、研修会を通して部活動の見直しや指導者の研修、保護者や生徒も参加して率直に部活動について意見交換していくことが大切であると思います。



①一番嬉しい時間



関 悦子 議員

Q 「食」は人間の原点であり、特に幼少期における食

を通じた教育は、人格形成の基本となっていると言われていて。国は、食育によって、国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことを目的として、平成一七年に「食育基本法」を制定した。町の第五次総合計画の基本計画では「伝統食文化の継承・食育の推進」を掲げ、「幅広い年

食育、学校給食と地産地消

答 学校給食の充実を図り、地産地消をさらに推進していく

代で食育を推進し、また、地域の行事や家庭での伝統的な食文化、

地産地消等を通じて食に対する理解を深め、生きるための力を育む」とされている。また、「小布施町食育推進計画」においては「学校給食に地産地消と旬産旬消の仕組みづくりを行い、地元で収穫した食材を最大限に給食に活用できるように安定した供給体制を確立する」とされている。

中食育推進連絡会の活動状況は。

(5) 給食用食材の放射能測定は。微小粒子物質の「PM2.5」への対応は。

A (1) 米、鶏卵、豚肉、きゅうり、りんご、梨、ぶどう

等は地元産が100%、牛乳、味噌、醤油は町内業者製造のものが100%であるが、JAや生産者などと連携して今後さらに地産地消をすすめる。

(2) 従来の郷土料理や伝統食を守りながら、さらに美味しく食べる工夫をしていきたい。

(3) 年平均で、一週間のうち、米の日が2.5日、パンの日が1.5日、麺の日が1日である。

(4) 小学校では約99%、中学校では93%子どもたちが毎朝、朝食を食べている。幼保小中食育推進連

絡会は現在未組織であるが、今後、組織の立ち上げについて検討を進める。

(5) 消費者庁、厚生労働省、県の食品検査データ等を注視し、放射能汚染情報を的確に把握し、過剰反応することなく、安全、安心な食材を使用していく。PM2.5については、今後、多くの情報を得る中で、必要な対策を講じていく。



②給食献立に伝統野菜を



原 勝巳 議員

駅前活性化

答 駅前検討委員会での議論に一定の方向性が出された
中で全体計画を作成したい
(小西副町長)

Q かつては小布施駅前も通
勤通学客で大変活気があつ
たが、ここ十数年、乗降客も減り、
大型郊外店や後継者不足等で駅前
商店も何店か戸閉めとなり活気が
無くなってきています。ここ数十
年農業立町小布施には約100万人の
方が訪れる町となり、町・町民が
すすめる町並修景事業第一、第二
と効果は確実に現れてきているが、
駅前周辺には人を引きつける環境
が不十分です。ここ数十年小布施
駅に降り立つ客層が変わってきて
います。文化観光協会による駅前
検討委員会やエキカツグループ、
ポケットパーク花手入れグループ
等の皆様により動きが出てきてい
ます。よって駅前ロータリーや周
辺を含め、豊穰の門の役場への移
設と町花町木を植え、農業立町、

町民の想いと顔の見える表玄関口
にする事も一案かと思うが。

A 昭和60年に駅前ロータリー
が整備され、61年に豊穰の
門をシンボルタワーとして設置し
ている。駅前の活性化は、観光協
会を中心に周辺住民の皆さんと検
討している。この駅前検討委員会
での議論に一定の方向性が出され

た中で全体計画を作成したい。豊
穰の門の移転についてもその経過
のなかで検討したい。

凍結時の踏切スリップ 事故防止対策

状況を見ながら低伝導性の凍結防止
剤を使っていきます(畔上リーダー)

Q 他町で遮断機の降りてい
る踏切に、高齢者女性が運
転する車がスリップし突入した事
故がありました。小布施にも電鉄
線が走っているのです、高齢者の方
の踏切スリップ突入事故が無いと
は言えません。横町・林間の踏切
は、山王島に向かって下りで手前
に大きな倉庫があり日当たりが悪
いため凍結しやすく大変滑りやす
いので、スリップ防止策を考える
必要があると思うが。

A 町で使用している凍結防
止剤は環境配慮型ではある
が塩分が少し含まれているため、
過去に踏切で電気を拾って遮断機
が降りたままになったことがあり、
今は踏切の前後では使っていない。
22年度の冬は冷え込みが厳しく、
この時に低伝導性の液状凍結防止
剤を使用した経過があり、状況を
見ながら低伝導性の凍結防止剤を
使っていきます。



駅前ロータリー



横町・林間の踏切



渡辺建次 議員

体罰もいじめもない学校生活

答 校長と教育委員会の連携を密に

(竹内教育長)

Q (1)体罰と教育的指導の違
いをどのように考えますか。
学校教育法第11条は、「校長及
び教員は、教育上必要があると認
めるときは、文部科学大臣の定め
るところにより、学生、生徒及び
児童に懲戒を加えることができる。
ただし、体罰を加えることはでき
ない。」と規定しています。

の行為は、許されない体罰行為に
あたりません。

Q (2)体罰をした教師に対し
ての処分について。地方教
育行政の組織及び運営に関する法
律第43条第1項は、「市町村委員
会は、県費負担教職員の服務を監
督する」と規定しています。

人物評価は掛け算とおっしゃ
られた人がいます。過去において
どんなに素晴らしい功績を残して
いても、一旦不祥事を起こして0
を掛けるとすべてが0になります。
A (2)県費負担教職員の処分
については、県教育委員会
が行なうことになっています。

移動支援としての有償運送

可能な運行体系を検討します。

(竹内参事)

Q タクシー利用助成の現況
と今後の予定を尋ねます。

A 当初の制度を見直し、順
調に伸びています。今後も
より利便性を高め継続します。

Q 有償運送の普及にあつ
ての課題は何でしょうか。

A 町が行う上で色々な制約
があります。今後の地域づ
くりを見据え、可能な運行体系を
検討したい。

受動喫煙対策 十分配慮し対応します

(田中参事)

Q 公共施設の出入口付近で
の喫煙は、受動喫煙の危険
性が大きいと思いますが、その対
応を尋ねます。

A 以前から分煙に取り組ん
でいますが、受動喫煙の防
止に十分配慮し対応します。

A 今回の小布施中での事案は、正
に体罰そのものであり、本人の猛
省が求められるところです。
(1)体罰と教育的指導との
違いは一般的に常識で判断
できるものであり、殴る蹴るなど

この場所の灰皿は、受動喫煙防
止のため撤去させていただきました。
喫煙は役場庁舎南側の「喫煙室」
でお願いいたします。
総務グループ

受動喫煙防止対策の貼り紙

聴文 傍想 会感

栗ガ丘小学校6年生

平成25年、3月7日、8日と午前10時より30分間、6年生が授業の一環で小布施町議会3月会議の一般質問を傍聴に来られました。皆さん緊張した面持ちで神経を集中しておりました。ごく一部ではありますが、その時の傍聴感想文を記載しました。

町議会の感想

遠藤 結衣
私は、町の人達がこんなに熱心に話しているなんて知りませんでした。私達が安心して暮らせるのは、こうやって話しあっているおかげなのだと思います。

私は、会議の中に入った時、とてもびっくりしました。半分に分かれていて、向きあいになっていました。議長は、一番高いイスにすわっていて、進行をしている様でした。そして、何かいい人、手を挙げて議長にあてられたら言えるということになりました。会議内容は、「いじめ問題・体罰問題」「食育・学校給食と地産地消」についてでした。みんな、自分の思いを熱心に伝えている様子が見えても分かりました。町は、こんなに考えているとは思わなかったのですね。私達を支えてくれている

私は、町議会を見学して、「議員の人は小布施町のことをこんなに考えてくれているんだなあ」とすごく感動しました。いじめについても、食育についても、たくさん話しあっています。小布施町がとてもいい町なのは、町議会の議員さんたちがいるおかげだとも、私は思いました。

町議会を見学して、今まで分からなかったことがよく分かりました。忙がしいところを見学をさせていただいて、ありがとうございました。

町議会を見学して

丸山 理子
私は、町議会を見学して、「議員の人は小布施町のことをこんなに考えてくれているんだなあ」とすごく感動しました。いじめについても、食育についても、たくさん話しあっています。小布施町がとてもいい町なのは、町議会の議員さんたちがいるおかげだとも、私は思いました。

町議会を見学して、今まで分からなかったことがよく分かりました。忙がしいところを見学をさせていただいて、ありがとうございました。

町議会を見学して、今まで分からなかったことがよく分かりました。忙がしいところを見学をさせていただいて、ありがとうございました。

町議会を見学して、今まで分からなかったことがよく分かりました。忙がしいところを見学をさせていただいて、ありがとうございました。

町議会を見学して

高野菜々恵
町議会で、学校の給食についてという質問がありました。どの質問にも、いいねいに答えていてすごいと思いました。また、朝食を食べているか？というアンケートで、小学校では、98.9%、中学校では、93%が食べているということが分かりました。小学校も、中学校も、たくさんの方が食べているけれど、食べてない人も、少しいことが分かりました。食べていない人が、少しでも多いといいと思いました。この町議会では、とても難しい、たくさんの方の問題について、話合っているということが分かっていました。とてもたいへんな仕事だなーと思いました。でも、小布施町のために、町議会の人たちにこれからもがんばってほしいと思いました。見学させてもらって、いい経験ができました。

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会を見学して

渡辺 優佳
今日役場に行き、町議会を見学させていただきました。さつそく中に入ると、みんな緊張が感じられ、難しい問題について話し合っていました。話し合っているのは、司会進行をする議長さんがいて、質問をする方の席には、第何番と書いてある札がおりてあり、小学校でも行っている児童総会のように感じました。

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会を見学して

久保田万葉
私は議会見学に行ってみて、感じたことがあります。それは、町の

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会を見学して

峰村 夏実
役場でおこなわれる議会を見学して、感じたことは全員集中してしんげんに話し合っていたということ。見学していた私は、見ただけなのにきんちようしてきました。

関谷明生さんが質問した内容は、私たち小学生の通学路について話し合っていました。今まで自分たちのことについてこんなふう

話し合ってください。話した内容は、今後の図書館運営の方向性についてでした。少し難しい内容の話し合いでしたが、いつもどんなふう

に話しているのかを実際に見て、しっかりメモをとることができてよかったです。今日の話し合いを聞いて、私も自分の意見・考えをもつようにしたいと思

町議会を見学して

滝澤 由唯
私は議会見学と聞いて、国会のイメージがうかびました。実際に国会と同じようなふんいきがあつて、すごくきんちようしてしまいました。私は、通学路の交通安全の確保調査と対策の話聞いて思わず感心してしまいました。理由は、私は東町に住んでいます。私も話があつた、たけのやの近くにあるY字路の所を帰っています。私も、Y字路を通る時にいつもビクビクしながら帰っています。車がつつこんできそうになつたりするので、すごくこわいです。特に右側を通る時は死角なのでとっても左右確認が大変です。けれど、町の中の議会でも話し合っているの

私が思ったことは、議会のみなさんの話合の中でいじめ問題についてのことがありま

私が思ったことは、議会のみなさんの話合の中でいじめ問題についてのことがありま

私が思ったことは、議会のみなさんの話合の中でいじめ問題についてのことがありま

町議会を見学して

坂上 歩
町議会を見学して、今まで分からなかったことがよく分かりました。忙がしいところを見学をさせていただいて、ありがとうございました。

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会を見学して

島田 天太
私は、議会を初めてみました。ぼくは、子どもなので、分りにくかったけど、大人の議会なので、すごい複雑でした。でも議員さんは、こういう風に町の事を考えてくれて

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会を見学して

久保田万葉
私は議会見学に行ってみて、感じたことがあります。それは、町の

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会を見学して

久保田万葉
私は議会見学に行ってみて、感じたことがあります。それは、町の

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう

町議会はこんなふう